



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年12月24日
我孫子市小中一貫教育だより
第359号



我孫子市マスコットキャラクター
「手舞沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと・Abi-キャリア「あびこ魅力UPプロジェクト」

我孫子第一小学校の総合的な学習の時間で『あびこの魅力UPプロジェクト』として6年生が市役所の都市計画課、企画政策課の方に聞いた話をもとに未来の我孫子をどんな町にしたいかを考えました。

どのクラスの児童も6年生の目線で我孫子市の現状を見つめ、魅力や課題について真剣に意見を交換していました。2組では、曼荼羅チャートを用いて20年後の我孫子の魅力を班ごとに発表し、3組では前時で作った曼荼羅チャートを見返し、「人口」や「施設」、「まちづくり」などの項目分けを行い、関心のある項目ごとにグループに分かれ、自分たちに行える「魅力アップ」の活動内容について話し合いました。1組では市役所都市計画課の話から学んだことを生かして「今ある我孫子の魅力とこれから作っていく我孫子の魅力」について話し、自分たちが出した曼荼羅チャートの内容を見返しながらアイデアを再考していました。どのクラスの児童も頭を付け合わせ、自分の意見を積極的に伝えあっていました。他の班の発表なども真剣に聞き、すべての児童がふるさとである我孫子について自分ごととして捉えていると感じる授業でした。



我孫子市の一員として、我孫子を大切に思うだけでなく、これからの我孫子をこんなにも真剣に考えてくれている一小的児童に感心させられると同時に頼もしさを感じる授業でした。

Abi-ふるさと「布佐の自まんカルタ大会をしよう」

布佐小学校3年生総合で、Abi-ふるさと「布佐の自まんカルタ大会をしよう」の授業が行われました。布佐中学校区では、小中一貫教育を先行的に実践しており、「ふさカリキュラム」を教育課程に位置付けています。

授業のはじめに完成しているカルタを紹介しました。「(お) おおにぎわいの竹内神社のおまつり」や、「(い) いばらきにつながっているさかえばし」など、布佐のまちについて、これまで学習したことをふり返りながら作成していることがよくわかりました。児童たちは協力して作成に取り掛かると、読み札の内容を考える児童、取り札の絵を描く児童、一人一台端末を使って調べる児童など、自分たちで役割を分担し、和やかな雰囲気ですべてを進めていきました。タブレットも普段から使い慣れている様子がわかりました。



授業の最後には、完成した分のカルタで「ぶちカルタ大会」を行いました。自分たちで作ったカルタだからこそ、大盛り上がりで楽しんでいました。カルタが全て出来上がったなら、他の班と交換して行う予定だそうです。1・2年生や地域の方との交流にも活かしていけそうです。

郷土について知り、郷土を大切にしようとする心が育まれていく、温かい授業となりました。本番のカルタ大会が楽しみでなりません。